



学校生活の心得・きまり



新座市立第五中学校

本校生徒として、学級、生徒会、及び課外活動において、積極的、自主的に参加し、次のような努力をしましょう。

教育目標

- | | |
|------|----------------------|
| 友愛 | 豊かな心を持ち、生命や人権を尊重する生徒 |
| 向上 | よりよい学校生活を目指す生徒 |
| 自主自律 | 自発的に正しく考え、行動を律する生徒 |

以下にあげたものは、教育目標を達成するうえで必要なマナーです。お互いに守って生活し、素晴らしい五中の伝統を受け継いでいきましょう。

1 生活

(1) 登下校

①登校時刻

- 登校は徒歩とする。時間に余裕をもって登校し、朝読書・朝学習を始める準備をすること。
- 8時25分までに自席に座っていることで出席とする（チャイムの鳴り始め）。
- 原則として、7時50分より前に登校しない。
- 遅刻した場合は、必ず職員室に寄って登校したことを伝えてから教室に入る。

②下校時刻

- 一般生徒・・・帰りの会終了後15分
- 帰りの会終了前に下校した場合は、早退とする。
- 諸活動生徒・・・17時30分
- 完全下校の時刻には、学校の門を出ていること。

③服装

- 登下校は標準服を着用する。ただし部活動の後にはジャージまたは部活動指定の服装で下校してもよい。
- 昼休み以降は、原則ジャージで過ごす。清掃活動と部活動がない日は制服で授業を受けてもよい。
- 下校後の再登校は、学校で指定された服装（制服、体育着、ジャージ）とする。

④安全面

- できるだけ複数で、寄り道をせずに登下校する。買い食いや飲食は禁止（休日の部活動も同じ）。
- 交通規則を守り、安全に心がける。道いっぱいには広がらず、通学路・明るい道を通って登下校する。
- 自転車通学は禁止する。ただし、授業・行事・入試等で使用する場合は、自転車許可書を前日までにもらい、自転車の前につける。校舎内では自転車から降りて押すこと。（例：職場体験など）
- 授業・行事・入試等、部活動の大会や練習試合等、自転車で移動する場合には、保険の加入を必須とする。また、ヘルメットをかぶるようにする。

(2) 所持品

- 学校に不必要なものは持ってこない。登下校中も禁止。

○お金 ○貴重品 ○マンガ本 ○ゲーム ○トランプ ○お菓子 ○ジュース ○化粧品
○はさみ・カッター類 ○法律で禁止されている物 など

- 携帯電話は、学校への持ち込みは原則禁止（校外学習・休日・部活動中なども含む）。
※「新座市小・中学校における携帯電話等の取り扱いに関するガイドライン」を参照
- 集金等は、朝のうちに担任または担当の先生に渡す。

- 物の貸し借りや他人の物を使うことはしない。
- 通学には学校所定のバッグ（五中バッグ）を、大切に使用する。バッグに荷物が入りきらない場合は、サブバッグを使用してもよい。
- ネクタイや上履きなど身の回りの所持品には、必ず名前を記入する。
- 通年で水筒に飲み物を入れて持ってきてもよい。中身は、お茶類かスポーツドリンクとする。ジュース・炭酸飲料は禁止。※予備・詰め替え用としてペットボトルを持ってきてもよいが、ペットボトルホルダーに入れるかタオルに巻くなどして区別化すること。ペットボトルは各自で持ち帰ること。

（３）態度・行動

- 時間を守って行動する。登下校の時間を守る。
- 訪問者や友達、上級生、下級生、先生に対して進んであいさつをする。
- 正しい言葉遣いを心がける。人を傷つける言葉を使わない。目上の人には敬語を使う。
- ロッカーや机の中の整理整頓を心がける。ロッカーや棚の上に私物を置かない。
- 学校からのプリント類は必ず家庭に持ち帰る。
- ゴミは分別して指定の場所に片付け、校内の美化に努める。
- 公共物（机や壁）などに落書きやいたずらをしない。
- 防犯上、他クラスへの出入りはしない（放課後も含む）。他学年のフロアへの出入りはしない（授業・委員会・教科連絡・部活動等、特別な用事があるときは除く）。移動教室や放課後は、扉を閉める。
- けがをしたり、物品等を破損したりしたときは、速やかに先生に報告し、指示を受ける。
- 土曜・日曜・祝日・長期休業中および夜間は、校舎内には入らない。校舎内を使う場合は、担当・顧問の先生の指示のもと行う。校庭の使用は、特別の場合を除いて認めない。
- 非常口は非常の場合のみ使う。

（４）校内

- 登校後は、校外に出ない。
- 以下の施設は、危険・防犯上のため立ち入ったり、触れたりしない。

○他クラス・他学年の階 ○ベランダ ○非常階段 ○火災報知機 ○消火栓 ○防火扉 ○配電盤
○ポンプ室 ○給食用リフト ○工作用機械 ○屋上 ○薬品庫 ○プール浄化装置 ○貯油庫
○空気清浄装置

（５）諸届け

- 登下校中または校内で急病やけがのあったときは、直ちに先生に報告・連絡する。
- 病気・入院等で欠席または遅刻・早退をするときは、保護者が学校に連絡をする。
- 病気・けが等で通学の服装の変更や、自転車通学が必要なときは、事前に連絡をする。
- 学割が必要なときは、所定の用紙で申し出る。
- 住所・電話番号等の変更は速やかに学校に申し出る。
- 事件や事故に巻き込まれたとき、不審者を見つけたときは、直ちに110番通報をする。その後、学校へも連絡する。

（６）職員室への出入りについて

- 出入り口は、用のある先生の席に近い方を利用する。
- 服装を整えて入室する。バッグは廊下に置き、コート・マフラー・手袋等は取る。
- 入室時はノック・「失礼します」を徹底し、所属・氏名を名乗り、退室時も「失礼しました」とはっきりあいさつする。
- 校庭側の出入り口は、部活動に関わる用件のみとする。
- 毎朝8：15～25は職員打ち合わせ中のため、朝は緊急時を除き8：15までに用事を済ませる。

2 学習

(1) 授業

- 着席チャイムを守って学習する。準備や教室移動は休み時間内に行う。
- 授業中は私語や居眠りをせず、集中して学習に取り組む。
- 忘れ物をしないようにする。忘れ物をした場合は、担任または担当の先生に申し出て指示を受ける。物の貸し借りや他人の物を使うことはしない。
- 特別な指示がある場合を除き、授業終了のチャイムが鳴るまで教室から出ない。

(2) iPad

- iPadは学習活動のために使用する。
- 指示がないときは机の中にしまう。勝手にアプリケーションを入れたり消したりしない。
- カメラでの撮影は肖像権などを考慮し、原則使用しない。
- iPadは、自分のものではなく在学中に借りている物のため、大切に使用する。

3 服装 *所定の標準服とし、正しく着用する。*

(1) スラックス型

- ☆標準…ブレザー・ワイシャツ・ズボン・ネクタイ・ベルト・名札
- ★夏季…ワイシャツ・ズボン・ベルト・名札 ※ネクタイはなし、ベストはどちらでもよい。

※シャツはズボンにきちんと入れる。腰パンをしない。ベルトは黒か茶の無地で装飾がないものを締める。

(2) スカート型

- ☆標準…ブレザー・ベスト・ワイシャツ・スカート・ネクタイ・名札
- ★夏季…ベスト・ワイシャツ・スカート・名札 ※ネクタイはなし

※スカートの長さはひざが隠れる長さにする。スカートを折って長さを調整しない。

(3) 共通

①標準服

- 年間を通して、標準か夏季のどちらかの服装を、気温や自己の体調に応じて判断して正しく着用する。ただし、儀式的行事（始業式・終業式・入学式・卒業式など）では指示の通りとする。
- ブレザーのボタンは全てしめる。
- 制服は学校に置いて帰らない。
- ワイシャツの下には、体育着または肌着を着用する。
- ワイシャツの第一ボタン・袖ボタンを留める。夏季は第1ボタンをあけてもよい。

②名札

- 所定のものを左胸ポケットにつけ、校内では外さない。朝の会前につけて、下校前に集める。

③上履き

- 所定の学年カラーのものを正しく使用する。かかとをふまない。下駄箱の上の段にしまう。

④体育着・ジャージ

- 清掃時の服装は、体育着またはジャージで行う。清掃活動のみの場合は、ワイシャツの上からジャージを着てもよい。

⑤通学靴

- 走ることに適した運動靴とする。色の指定はない。
- 大雨や雪の日は、天候に適した靴を履いてきてもよい。

⑥暑熱対策

- 天候や気温等を鑑みて体育着での登下校を認める。（およそ6月上旬～10月下旬）
※時期が近づいたら、詳細をお伝えします。

靴に関すること	
○ ランニングシューズ	× スニーカー
 <ul style="list-style-type: none"> ○ 軽くて通気性がよい ○ つま先が上がっている ○ 靴底が曲がりやすく、引っかけやすい ※ 悪天候は長靴・スノーシューズを履いてきてよい 	 <ul style="list-style-type: none"> × 革(レザーやスエード)素材で重い × 通気性が悪い × つま先からかかとまでが平ら × 靴底が曲がりにくく、平らで引っかけやすい ※ ハイカットシューズやブーツは禁止

⑥靴下

■ 白・黒・紺・グレーを基調とした、学校生活や運動に適したものとする。ワンポイント、ラインは可。

⑦防寒具

《セーター》

- 寒い場合は、ブレザーの下にセーターを着用してもよい。カーディガンは不可。
- Vネックで、ネクタイが見えるもの。色は黒・紺・グレーで無地のものとする（ワンポイントは可）。
- 儀式的行事（始業式・終業式・入学式・卒業式など）では指示の通りとする。
- ブレザーの袖や裾から出ないように着用する。セーターを着用する場合は、ベストは着なくてもよい。
- 授業中や教室内であれば、ブレザーを脱いでセーター姿で生活してもよい。

《上着》

- 登下校時に寒い場合は、上着を着用してもよい。ただし、教室内でバッグやロッカーに収まらず、保管の面で他の生徒の迷惑になりそうなものは避ける。
- 部活動で使用しているウィンドブレーカー等を防寒着として着用してもよい。

《インナー》

- 防寒としてワイシャツの下に着用してもよい。色は、白・黒・紺・グレーとする。ワイシャツや体育着の下から見えるようなハイネック等は不可。

《タイツ》

- 防寒として着用してもよい。色は黒とする。七分丈などの中途半端な長さとなるものは不可。

《その他》

- マフラー・ネックウォーマー・手袋などの防寒具を使用してもよい。色は自由だが、派手でないものを安全にだらしなくならないように使用する。
- ひざ掛けを使用してもよい。使用場所は教室のみとし、授業や休み時間にも使用しても構わない。ただし、頭からかぶったり、毛布かわりにしたりしない。色は自由だが、派手でないものを安全にだらしなくならないように使用する。
- カイロ・マスクは各自で持ち帰る。

4 頭髪など 頭髪は清潔で気品を保つように整える。

- 頭髪は清潔で、健康や安全に留意した髪型にする。剃り込みやライン、派手な編み込みなど、流行を過度に意識した頭髪及び眉にはしない。
- 整髪料などによる整髪、髪の色を変えること、過度なクセ付け（立たせる、巻くなど）はしない。
- 髪が肩まで伸びた場合は、結ぶか編む。ヘアゴムやヘアピンの色は黒・紺・茶とし、華やかな髪飾りは使用しない。
- 化粧はしない。
- リップクリーム・ハンドクリームは薬用で無色のものは可。着色・香りつきのものは使用しない。
- 制汗シート・日焼け止めは使用してもよいが、無臭のものとする。使用する場所に留意する。